

## 「東京立命会」の話

丸山隆平(9組、小諸市<sup>ろっく</sup>六供出身)

小諸から信越線で40分かけて上田に通っていた。座るところがない、120%程度の混雑だが、先輩に会ったら必ず、脱帽して挨拶しなければならない。

高校に入学したら、「必ず出てこい」と言われて、4月のはじめ、夕方、懐古園の古城館という旅館に出かけて行った。そこで「上田高校生たるものは」という話、要するに「お説教」が延々と続き、そのあと、千曲川まで下りて行って寒中水泳した3年生を見ていた。

「通学団」と言うらしい。

3年になった時、上田から応援団の連中を呼んだのは金井純チャン(純一4組)だ。酒も飲んだ気がする。

それから半世紀。知らなかったが「小諸では立命会のOB会がずっと行われており、東京でも会を立ち上げたい」という知らせが来たので、麴町の中華料理屋に出かけて行った。

行ってびっくり。30人ほどの中で、私が最若輩者。最高齢者は44期の高橋昭平氏で海軍の経験者。会長は54期の山崎和邦氏(元野村證券)で、株式投資についての特別講演も行われた。

関東同窓会でお会いする先輩も多かったが、多士済々。

5月から新しい仕事が変わり、新しい世界が広がったが、また、多くの面白い個性と触れ合うことができそう。

それにしても母校のパワーはと、感心した。

(2014年7月19日記)



東京立命会創立総会にて(筆者は後列右から6人目、右腕で口を押さえている)